日本プロレタリア音樂家同盟
ニュース
号外

1732.9.24.
上戸塚743
日本プロレタリア
音楽家同盟
東京支部

10.7.（渡政デー）

P・M・作同 共 主催

「講演と音樂の夕」

於 上野自治会館

一九二八年、一〇・七日、同志渡辺政之助は、キールンツ頭に於て、憎むべき敵の白テロの為たふれた。以来四年、当時捕はれた吾々の輝かしい指導者達は獄中にも勇敢に斗って居る。併して今、極悪死刑法、治安維持法に依って、死刑、無期、その他合計千数百年の刑を言ひ渡され様としてゐる。人類の進歩の為に最も勇敢にけん身的に斗った同志達が、自己の利益の為には、いかなる不法をもあへてなす資本家地主の為に裁かれてゐる？更に三月以来打ちつゞくコップに対する暴圧に依って、多くの吾々の秀れた指導者達をうばはれた。

之等總て、資本主義の最后的行つまりを、戦争の強行以外方法を知らない資本家地主政府の窮鼠的攻撃であり、又、輝やかしき第二次五ケ年計畫を[illegible]し同盟成功的終らんとするソ同盟の攻撃、中国革命圧殺の憎むべき計畫の準備である

同盟員諸君！

之へ対する逆襲は、吾々の陣営を整備して、吾々の組織を実質的に拡大する事以外にはあり得ない。

同盟員諸君！

十月七日（渡政デー）の「講演と音楽の夕」を最も成功的に斗ひ抜け！

合唱・オーケストラ・ハーモニカ

全部出演する

各班はそれぞれ次のプランに依り準備せよ.

合唱団

- 出演者 合唱団員全部 責任者 新島
- 演奏曲 勝利・愛する大陸・渡政の歌・働く婦人の歌（以上弦楽伴奏）
  - 翻訳物四、反戦の歌（新作）交通の歌（新作）青年の歌
  - 戦カンポチョムキンの記憶に ピオニールの唄
  - プロレタリア団結せよ
- 練習日
  - 築地小劇場に出演するので劇場で、適当の時間に

オーケストラ、

- 出演者、伊藤、和泉、福田、本本、北見 他二、三名
- 曲 目 以前の曲 インター、斗争歌組曲等、
- 練 習 曲を整備して後、二、三回あはせる。

ハーモニカ、

- 出演者、 山本、岩改、武岡、北見、福田、土屋 八幸、一
  - その他サークルのメンバー、五、六名
- 曲 目 トールドホレーソン、憎しみのるつぼ、俺はカチ座等、
- 練習 曲を整備して後、二、三回あはせる。

現在ハーモニカ班には楽器が不足してゐる、特に低音楽器は一つもない。全同盟員は、即時ハーモニカを集めろ！

全同盟員諸君！

諸君が既に良く知って居る様に現在演奏活動は極度の不振だ

このカンパを通じて一せいに各班を立なほせ！。

創作班、

以上の為に

翻訳曲四、交通の歌、渡政の歌、反戦の歌、戦艦ポチョムキンの記憶

に等を至急 完成せよ、

宣傳その他の準備活動について

会場の一さいの責任・及びビラの印刷は作家同盟が責任を持つ

P・Mはデンタン、一千枚のプリント、労働者向入場ケンの責任を持つ

宣傳の結果を統計し、P・Mと作家同盟の動員数を比較する。

入場ケンの前売・労券の配布等に全同盟員は積極的に参加せよ！

各地区では直ちに宣傳の具体的プランを立てろ！。